

・プロジェクト名称は「COTCAブランド」創造プロジェクト」とする。

・複数の商品群を単一ブランドで構成する。商品群のカテゴリは当面、食品、民芸品、工業用品、技術の四つとする。

・主な事業計画は①ブランド確立のために勉強会実施、ロゴの作成②海外市場調査のために展示会調査、とする

第二回研究会の結論を元に、組合事務局を中心に申請書作成を行い、平成25年5月22日に採択の通知を得た。

② JAPANブランド育成支援事業の概要

JAPANブランド育成支援事業は、海外販路開拓につなげるために中小企業が協働して行う戦略策定や商品開発・海外展示会出席等を支援する事業である。平成16年から開始され、平成24年5月時点で272件が採択されている。

この事業は、①戦略策定段階への支援、②ブランド確立段階への支援(3年間)の二つの支援があり、①を経て可能性のあるものが②に進めるようになっていく。

今回、当組合が申請・採択され

た事業は戦略策定段階への支援であり、補助金は200万円である。

③ 「COTCAブランド」

前述したように、当組合は異業種の組合であり、組合員は多様な商品を販売している。この強みを生かすために、COTCAブランドは組合員企業の商品・サービスの内容を整理することにより、4つのカテゴリで構成する複合ブランド戦略をとることとした。カテゴリ別の主な商品及び参加企業数は次の通りである。

- ・食品カテゴリ…わさび落花生、伊勢海老煎餅等4社
- ・民芸品…千葉県に因んだこけし、人形や和装飾り物等6社
- ・工業用品カテゴリ…包丁、医療品等4社
- ・技術カテゴリ…建築等4社

これにより、個々の企業の優れた商品を組合として統一ブランドで販売することができ、新たな販売拡大につなげることが期待でき

事業の成果

今回の研究会の成果は何と言っ

てもJAPANブランドの採択を得たことである。これによって当組合のブランド戦略の遂行がJAPANブランド育成支援事業のステップに沿った形で推進できる点

が大きな成果である。また、COTCAブランドのロゴシールのついた商品を成田空港店舗で販売でき、ブランド普及や販売拡大に利用できる。

更にブランド認知度が高まれば、海外に販路を求める中小企業からの組合加入が増加する可能性もある。また将来、組合員企業が連携して新商品を開発し、COTCAブランドで販売することも考えられる。

今後の事業展開・展望

① 本年度の活動

今回の研究会を通して、JAPANブランド育成支援事業の採択を得た結果、平成25年度では戦略策定事業を行うことができる。

既に、平成25年10月にはバンコクにおけるジェトロアセアンキャラバンの展示会調査等の市場調査を実施している。



(バンコク展示会の様子)

また、平成26年2月に法兰克福ト アンビエンテにおいて展示会調査等、欧州における市場調査を行う予定である。

これらの市場調査と並行して、ブランドロゴの製作、ロゴシールの作成等を行っている。

② 平成26年以降の展開

JAPANブランド育成支援事業の第二ステップとして「ブランド確立支援」を3年間に互って実施することができる。この支援により共同製品開発、展示会への出店、ブランド管理体制の整備等、更に具体的な組合員の海外販路開拓に寄与することが期待できる。

(安藤孝)